

塩沢雪国歴史街道まちなみ形成デザインルール

要約版

● 届出る内容

建築物の建築確認を行う前に別紙申請書、
構築物及び建築物の形状、及び配置のわかる図面及び色彩計画

● 届出先

まちなみ形成協定運営委員会（以下協定運営委員会という。）
なお配置のわかる図面は、雁木の柱の位置を設計するための柱の正確な位置を記入することとする。

● 建築物及び構築物の形態及び色彩について

基本的考え方： 本デザインルールの推奨図を参考に和風で雪国塩沢の歴史を感じさせる外観を形成し、魅力的なまちなみ形成を図る。

1. 高さ・階数： 最高高さ 11 m 以下
階数： 2 階建て
ただし、やむを得ない場合 3 階建て等の高さについて特別協議をする。
2. 高床式建築： 建てない
3. 色彩： 色彩は白・黒・茶を基本とする。
屋根 黒系色 こげ茶系
柱 木の自然色、黒系または茶系色
茶系の色彩については、派手にならない茶系色を薦める。
4. 構造 木造
ただし、やむを得ない場合構造等について協定運営委員会と特別協議を行う。
5. 建築外観： 和風（在来工法による建築の外観）
6. 構築物等： 大きな構築物等 建築外観に準じる
看板 自動販売機等 まちなみに合うよう意匠に配慮する。
7. 看板等付属物： 構築物と同じ
8. 細部ルールは下記のとおりとする。
建物配置： 妻入りまたは平入りの配置
屋根： 焼き瓦葺（黒色系かいぶし銀色 平入りは特に瓦葺を推奨）
またはカラー鉄板長尺横葺 またはカラー鉄板長尺瓦棒葺
軒裏： 色： 白色、茶色系のうち土壁色
仕様： 左官仕上げ、しっくい仕上げを特に推奨

外壁： 色：白色、茶色系のうちで土壁色
仕様：イ 左官仕上げ、しっくい仕上げを特に推奨
 ロ 木製壁板仕上げ（内部壁面防火仕様）
看板：和風な修景を形成する看板
門灯：行燈風
ひさし：腕木ひさし
窓飾り：縦格子、横格子など和風な趣の物
塀：板塀など和風のもの

●雁木のデザインルール

1. 構造： 木造平屋
2. 柱は歩道側に設置し、宅地側は建築物の柱等に接属する。
 雁木が接続する建物がない場合柱は歩道側と宅地側の両側柱となる。
 柱は2間間隔を基本とするが、建物の位置及び柱の位置、店舗入り口等を考慮して位置決めする。
4. 屋根： ステンレス銅メッキ版横葺き（勾配3寸を基本とする。）
 管理は雪下しを原則にする。
5. 高さ： 軒先高250cmを見当とし許容範囲20cmをめぐとする。
 （大型車両の乗り入れ等ある場合特別協議とする。）
6. 軒裏色彩： 梁 束 母屋 垂木 現し部分は柱に準ずる。
 柱色彩： 木造こげ茶色着色塗装塗り
7. 歩廊床：玉石洗い出し
 柱くつ石：自然玉石
8. 廊床勾配：道路縦断に対して歩道と同じ勾配
 道路横断に対して歩道側へ1%の割合で下げる（水勾配）